

ご協力ありがとうございます！

【6月の寄付品】(有)三宅農場、ふくや、馬場雄二

【6月の新入会】渡邊 史

日本語のようす

各クラス週 1 回午後の時間、日本語の勉強を続けています。夏野菜の収穫が本格的に始まり、毎朝5時半から収穫をしているので、長めの昼休みに午睡をしておかないと、午後の勉強に集中できません。スマホの誘惑に負けず、しっかり休むこと、現代ならではの課題です。

農業研修生 A クラス 4 名は、4 か所の表敬訪問にて一人一人が代表のスピーチを行いました。こちらで用意した原稿を読み上げるのですが、各市庁舎の雰囲気もあり、かなり緊張したようです。良い経験になったことでしょう。7 月 2 日には、日本語能力試験N5 を受験します。本来の力が発揮できれば合格できるレベルです。試験会場の雰囲気にのまれることなく、力が発揮できることを願います。

農業研修生 B クラス 5 名は、少ない語彙で理解しあったり、冗談を言い合ったりできるコミュニケーション力があるクラスです。先日は、「～たことがあります」(経験)を導入する際、教師の経験として、「1999 年にタイへ行きました。」→「わたしは、タイへ行ったことがあります。」と例文をあげました。即座にインド研修生に「え～わたしは、1999 年に世界へ来ました～(産まれました)。」「とうまいこと言われてしまいました。彼らの若さから、パワーをもらっているこの頃です。

がんばれ、研修生！(立石考子)

7 月の予定

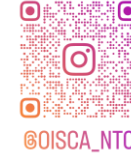
- 4 日 福岡市市役所農産物販売
- 11 日 福岡県庁パネル展(14 日まで)
- 13 日 福岡県庁農産物販売会(14 日)
- 15 日 生松台ふれあい市
- 22 日 ライオンズ合同地引網
- 27 日 地球体験村(29 日まで)
- 29 日 サマーナイトフェスティバル



体験農園だより

今年は雨の少ない梅雨でした。これから少しでも雨が降ってくれることを祈ります。また新型コロナウイルス対策が緩和され、各所でイベントが開催される中、週末の作業日や収穫には多くの方が畑にお越しください。もっと畑に来る楽しみが増えるようなイベントを行えたらと思います。6 月初めには田植え大会を行いました。昨年と同じく学校行事と重なり、参加者は少なかったですが、田植えを楽しんでいただけでした。秋の稲刈りには多くの方にお越しただけたらと思います。また 4 年ぶりに合宿スタイルでの地球体験村を 7 月 27 日(木)～29 日(土)に、小学校 4 年生から高校 3 年生を対象に行います。農業体験や環境学習、国際協力をテーマにした濃密な 3 日間。また最終日 29 日にはサマーナイトを実施予定です！ぜひ、お申し込みくださいませ(飯川)

まるごと!西日本



@OISCA_NTC

Instagram



facebook

発行:(公財)オイスカ西日本研修センター まるごと部
福岡市早良区小笠木 678-1
TEL(092)803-0311 FAX(092)803-0322
E-mail: oiscantc@oisca.org 検索 [オイスカ西日本](#)



2023 年 7 月号

日頃の様子を更新中！是非チェックお願いします！

福岡リパティライオンズクラブ結成 40 周年記念式典参加

6 月 2 日(金)、福岡リパティライオンズクラブの 40 周年記念行事が福岡市内で行われました。福岡リパティライオンズクラブ様は発足以来支援先の一つにオイスカ西日本研修センターの海外研修生の支援(博多祇園山笠・大相撲九州場所等のご招待をはじめオイスカ国内外への支援)をされています。今回の 40 周年記念支援事業として小動物侵入防止ひし形金網 400 メートルをご寄贈いただき廣瀬所長へ目録が渡されました。2 部の祝賀会では海外研修生の踊りの出し物や会場内では募金箱を持参して各テーブルまわり皆様から総額 154,973 円のご寄付をいただきました。また参加者全員へオイスカ米を贈呈いただくなど、これまでたくさんのご協力をしていただいています。福岡リパティライオンズクラブの皆様方の長年にわたるご支援に対して心より感謝を申し上げます、ありがとうございました。これからどうぞ宜しくお願いします。(満川)



海外研修生参加

金網ご寄贈

農場の研修風景

今年の研修生は 2 月 27 日に来日し、寒い中で日本語を中心に研修を行いました。そんな日常の研修の中で、彼らが初めて味わう日本の果物がイチゴです。もちろんリンゴやミカンも食べる機会はあるでしょうが、センターで作っているイチゴの味は格別です。日本に来て初めて食べたイチゴの味が忘れられず、国に帰ってからイチゴ栽培にチャレンジしたいという思いを持つ研修生も結構多いです。そんな中で来日してから早くも 4 カ月が過ぎ、6 月下旬の梅雨の後半ぐらいに、センターでは桃の収穫がはじまります。植えている木は少ないので、すぐになくなってしまいますが、販売できない傷んだ桃などは、昼ご飯の時にみんなで食べます。もちろん研修生にとっては初めて味わう果物ですし、桃のように香りのよい果物は熱帯果樹ではあまりないと思うので、研修生はみんな桃が大好きです。大皿に出された桃はすぐになくなります。西日本センターでは、桃の収穫が終わると次はブルーベリー、そしてブドウ、イチジクと続いていきます。自分の国ではなかなか味わえない日本の果物の味を、十分に満喫してもらいたいですね。(豊田)



表敬訪問

令和 5 年度の海外研修生の基礎研修も無事に終え、5 月 13 日に入所式を開催しました。

例年、各自治体(福岡県、福岡市、早良区、福津市)への表敬訪問を受け入れていただいております、今年は 6 月に実施しました。

福岡県では渡辺国際局長、福岡市では龍国際局長、早良区では満生区長、福津市では原崎市長にそれぞれご対応頂き、研修生への歓迎のご挨拶、研修生からは日本で学びたいこと等を自己紹介を含めて紹介しました。来年 3 月の帰国まで、多くの方々にお世話になりますが、皆様の温かいご協力に感謝致します。(廣瀬)



早良区



福岡県



福岡市



福津市

オイスカ西日本支部推進協議会総会

九州各県にあるオイスカ西日本支部推進協議会の総会が、6月には3つの地域で開催されました。

6月2日には、長崎県推進協議会の総会が佐世保市相浦コミュニティセンターにて開催され、山下会長はじめ7名の会員さんが参加しました。

6月15日には、佐賀県推進協議会の総会が佐賀県商工会館で開催され、島松会長はじめ6名の会員さんと、オイスカ佐賀議連の藤木会長はじめ7名の来賓を迎えて開催されました。

また、6月29日には、久しぶりに鹿児島県推進協議会の総会が にて開催され、8名の会員さんが参加しました。

それぞれの総会には、研修生が民族衣装を着て参加し、自己紹介と民族舞踊を全員で披露して、参加した会員さんに研修生の元気で明るい様子を紹介することができました。研修生にとりまして、このような総会に参加することで、「自分たちはオイスカの会員さんたちの協力のおかげで研修に参加できる」という事、そしてたくさんのサポーターが応援してくれている事を改めて実感するよい機会となりました。(豊田)



写真撮影会

6月13日にアトリエ木下浄水通り店にて写真撮影交流会が行われました。女性研修生はメイクとヘアアレンジをしてもらい、いつもと違う雰囲気の自分に驚いていました。研修生達は写真が大好きで、モデルになったような気分で写真を撮ってもらっていました。

アトリエ木下様は今年で創業100周年を迎えられます。7月にソラリアステージで行われる写真展では今回撮影した研修生達の写真も飾られるそうです。皆さまもぜひ写真展で研修生達の写真を見てみてください！(園田)



田植えイベント満載 6月は田植えの季節です。今年は6月10日(土)に、地元脇山地区において3年ぶりに早良高校生徒や自衛隊の皆さんなど各種団体を招いての田植え大会が開催されました。大勢で行う田植えイベントは本当に久しぶりだったので、うまくいくのか心配でしたが、JA 脇山青年部の皆さんが、的確な指示を最後までしていただいたお陰で、時間はかかりましたが上手に苗を植えることが出来ました。脇山小学校の子ども達も泥んこになりながら最後までがんばって苗を植えている姿が印象的でした。

また、6月3日(土)にはセンター主催の田植え大会、5日(月)には春日市にある若竹保育園の年長さんを招いての田植え大会が実施され、みんな泥んこになって苗を植えていました。日頃泥んこになる機会が少ない中で、田植えを通して泥の感触や用水路を流れる水の冷たさなど、脇山の自然を実感しお米を作ることの大変さを肌で感じる良い機会になりました。(豊田)



宮崎県推進協議会会員ご紹介 山田佐重子様

私は山田佐重子と申します。あれから何十年経ったんだろうか？学校を卒業した頃にオイスカの会員さんが自宅に出入りされていたのを覚えています。ある時知り合いのお誘いでオイスカ宮崎の植林活動でタイ、インド、マレーシアそしてパラオを訪問しました。日差しが強く炎天下の中、訪問をした地域の皆さんと汗を流し植樹をしたことを思い出します。海外で受けた皆さんの熱心さや優しさに触れ感激しました。その後も数回植林活動に参加をしてオイスカ会員にもなさせていただき10年くらいが経ちます。まだまだオイスカ会員歴はそんなに長くはありませんがオイスカの素敵な理念に基付き、これからも末永くご協力していきたいと思いますので宜しくお願いします。



写真中央 山田様



OB の紹介

今回紹介します OB 研修生は、2010年の研修生でインドのアプさんです。

アプさんはインドの踊りがとても上手で、イベント時にはいつも素晴らしい踊りを披露してくれました。頭がよく勤勉で、よく気が付くパーフェクトの研修生でした。

そんなアプさんは今何をしているのでしょうか。

◆国に帰ってから今まで何をしていましたか？

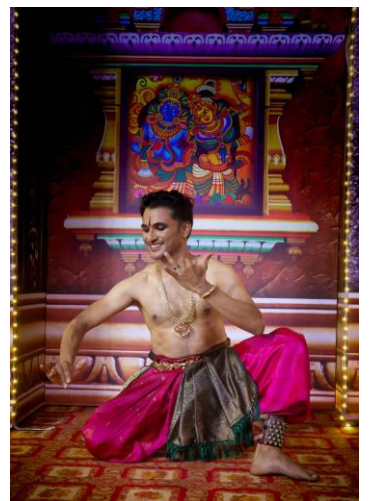
私は国に帰ってから、3年間ぐらいオイスカのボランティアの仕事と踊りの学校で勉強をしていました。その後、大学に入り5年間踊りの勉強をしました。大学を卒業した後は、1年間踊りの学校で先生をして、2018年からしんわトレーディングという水産会社に入って日本語の通訳をしています。そして、週末には踊りの学校で先生をしています。

◆日本での思い出は何ですか？ 日本での約11カ月間の生活は、私の人生で最高の経験であり、よい思い出がたくさんあります。様々な国から来た友人たちと日本人の優しさを今でも覚えています。

◆日本の料理で好きな食べ物は？ 私はベジタリアンだったので、日本の料理では肉や魚が入っておりちょっと大変でしたが、食堂の皆さんは親切に野菜の料理を食べさせてくれました。大変お世話になりました。好きな料理は、うどん、天ぷら、高菜漬け、梅干しなどです。私が日本から帰る時、友池お母さんと大坪お母さんが、私の好きな梅干しをプレゼントしていただきとても嬉しかったです。

◆これからのプランはありますか？ 私はこれからも同じ仕事を続けていこうと思っています。そして、踊りの先生をしながらチャンスがあればオイスカの活動にも参加していきたいです。

以上、インドのアプさんの紹介でした。これからの更なる活躍を期待します。



大野城国際交流協会「tomorrow」交流会

6月24日(土)、コロナ前まで毎年実施されていた、大野城国際交流協会の若手グループ「tomorrow」との交流会が4年ぶりに開催されました。当日は引率者含めて14名の参加者があり、午前中はジャガイモの収穫体験と各国料理づくり、午後からはゲームなどをして交流を深めました。大野城国際交流協会とは、年間を通してスピーチコンテストやイベントへの参加をしており、今回の交流会をきっかけとして更に懇親を深めるよい機会となりました。(豊田)

